新潟県

令和8年11月5日
福祉保健部感染症対策・薬務課

新潟県感染症情報　季刊報（令和8年1～6月）をお知らせします

●令和8年1～6月（第1週から第26週）における感染状況
感染症法に基づき、令和8年1～6月に県内で届出のあった全数把握感染症は、314件でした。
類型別届出数の累計は下記のとおりです。（保健所受理日で集計）

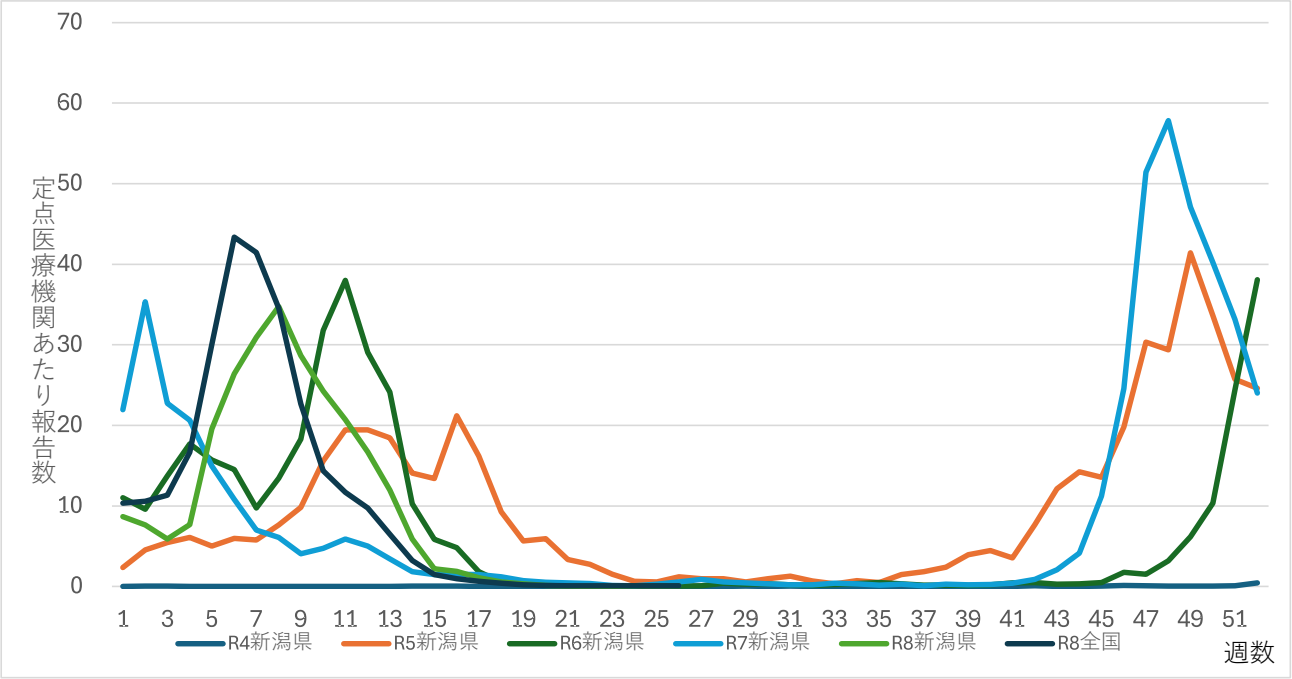
●全数把握感染症（令和3年以降に届出があった疾患のみ計上）

感染症の類型、感染症名	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年1～6月
1類感染症						
届出なし	0	0	0	0	0	0
2類感染症						
結核（患者）	145	108	130	102	99	46
結核（無症状病原体保有者）	74	63	53	64	57	28
3類感染症						
腸管出血性大腸菌感染症	27	48	65	43	33	15
腸チフス	0	1	0	0	0	0
4類感染症						
E型肝炎	13	6	5	7	9	4
A型肝炎	0	0	1	2	2	4
オウム病	0	0	2	0	0	0
チクングニア熱	0	0	1	0	0	0
つつが虫病	7	4	6	4	6	2
デング熱	0	0	1	1	0	0
日本紅斑熱	0	0	1	0	0	0
ボツリヌス症	0	0	0	0	1	0
レジオネラ症	48	47	64	58	62	11
レプトスピラ症	1	0	0	0	0	0

感染症の類型、感染症名	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年 1～6月
5類感染症						
アメーバ赤痢	10	5	2	10	5	3
ウイルス性肝炎	1	1	3	0	5	2
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	45	44	53	54	23	0
急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く）	1	0	1	0	2	1
急性脳炎	11	2	18	11	8	3
クロイツフェルト・ヤコブ病	5	4	2	5	4	1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	21	23	15	42	23	9
後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）	1	7	7	11	4	2
ジアルジア症	1	0	1	0	0	0
侵襲性インフルエンザ菌感染症	3	2	4	12	13	5
侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	1	0
侵襲性肺炎球菌感染症	34	24	38	39	43	17
水痘（入院例）	5	4	8	7	6	7
梅毒	60	139	122	140	118	51
播種性クリプトコックス症	3	0	8	3	3	2
破傷風	3	2	1	1	2	1
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	1	0
百日咳	36	28	29	127	3,985	90
風しん	0	0	0	0	0	0
麻しん	0	0	0	0	0	10
計	555	562	641	743	4,515	314

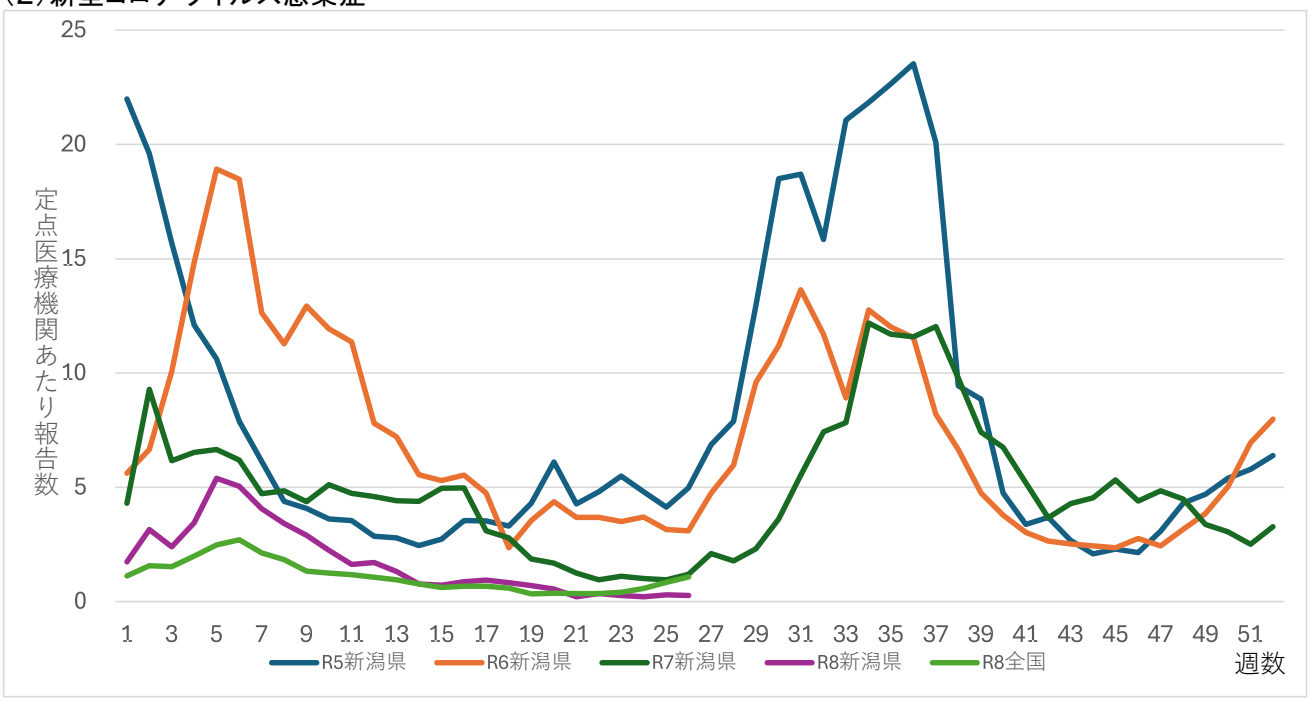
●定点把握感染症

（1）インフルエンザ



県の定点当たりの報告数は、令和5年は第11週、令和6年は第17週、令和7年は第2週及び第48週でピークを迎え、令和8年1～6月では第8週にピークを迎えた。

（2）新型コロナウイルス感染症



令和8年1～6月における県の定点当たりの報告数は第5週にピークを迎えた。

●性感染症（各年における累計報告数）

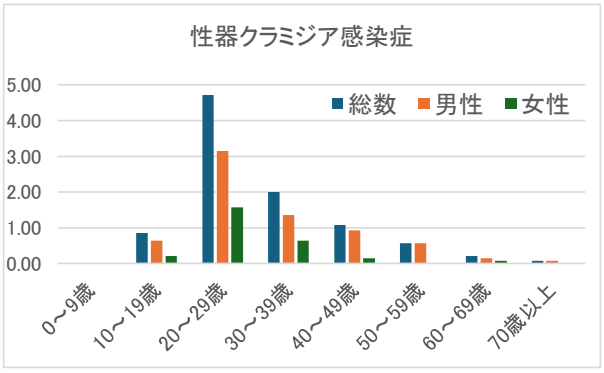
感染症名			令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年1～6月
性器クラミジア感染症	新潟県	報告数	304	329	369	398	345	133
		定点当たり	20.27	21.93	24.60	26.53	24.64	9.50
	全国	報告数	30,003	30,136	31,270	29,806	28,492	
		定点当たり	30.52	30.66	31.78	30.38	29.07	
性器ヘルペスウイルス感染症	新潟県	報告数	71	92	94	90	114	58
		定点当たり	4.73	6.13	6.27	6.00	8.14	4.14
	全国	報告数	8,981	8,705	9,469	10,010	10,625	
		定点当たり	9.14	8.86	9.62	10.20	10.84	
尖圭コンジローマ	新潟県	報告数	49	58	75	91	54	28
		定点当たり	3.27	3.87	5.00	6.07	3.86	2.00
	全国	報告数	5,602	5,979	6,621	6,387	6,262	
		定点当たり	5.70	6.08	6.73	6.51	6.39	
淋菌感染症	新潟県	報告数	92	105	102	113	91	23
		定点当たり	6.13	7.00	6.80	7.53	6.50	1.64
	全国	報告数	10,399	9,993	9,674	8,791	8,201	
		定点当たり	10.58	10.17	9.83	8.96	8.37	

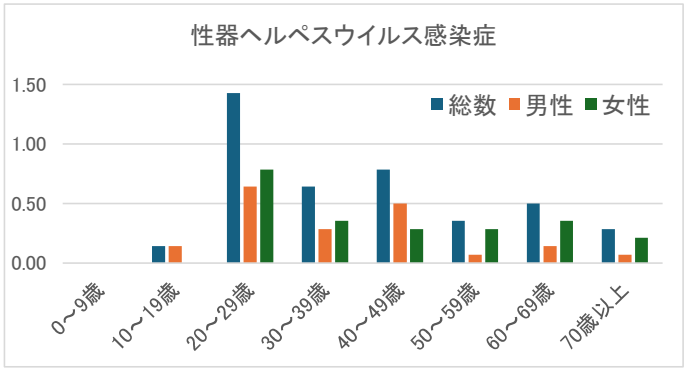
※全国での報告は集計中ため、令和8年1～6月での報告数は掲載していません。

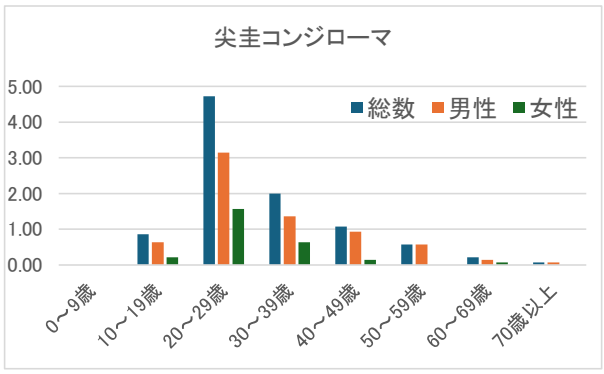
●性感染症（県における定点当たり報告数　性・年齢階級別、令和8年1～6月計）

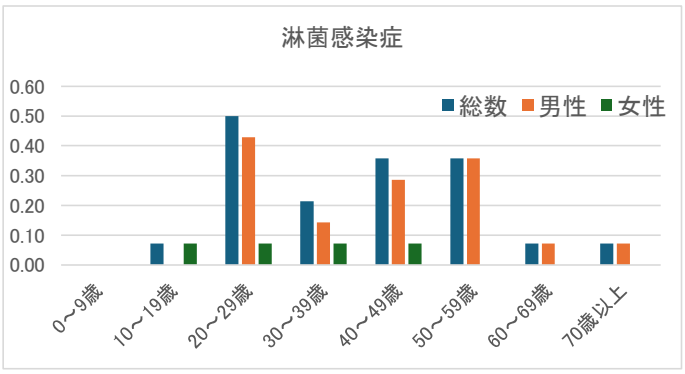
		0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
性器クラミジア感染症	総数	0.00	0.86	4.71	2.00	1.07	0.57	0.21	0.07
	男性	0.00	0.64	3.14	1.36	0.93	0.57	0.14	0.07
	女性	0.00	0.21	1.57	0.64	0.14	0.00	0.07	0.00
性器ヘルペスウイルス感染症	総数	0.00	0.14	1.43	0.64	0.79	0.36	0.50	0.29
	男性	0.00	0.14	0.64	0.29	0.50	0.07	0.14	0.07
	女性	0.00	0.00	0.79	0.36	0.29	0.29	0.36	0.21
尖圭コンジローマ	総数	0.00	0.00	0.50	0.36	0.57	0.14	0.43	0.00
	男性	0.00	0.00	0.21	0.36	0.43	0.14	0.43	0.00
	女性	0.00	0.00	0.29	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00
淋菌感染症	総数	0.00	0.07	0.50	0.21	0.36	0.36	0.07	0.07
	男性	0.00	0.00	0.43	0.14	0.29	0.36	0.07	0.07
	女性	0.00	0.07	0.07	0.07	0.07	0.00	0.00	0.00

●県における定点当たり報告数　性・年齢階級別グラフ（令和8年1～6月計）









●性感染症の発生状況

・令和8年1月～6月において、性器クラミジア感染症及び性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症において、20～29歳の発生が最も多い。

・淋菌感染症において、他の性感染症に比べ40～49歳と50～59歳の発生数が多い。

●令和8年1～6月の感染症発生動向に関する新潟県サーベイランス委員会コメント

1. 麻疹患者の発生が、平成31年3月以来7年ぶりとなり、第10週（3/2～3/8）までの間に10件の報告があった。その後、県内での発生は見られていない。全国的には直近10年で最も多かった平成31年/令和元年に次ぐ水準で推移していることから、引き続き発生動向を注視する必要がある。

2. 新型コロナウイルス感染症は、全国に比べ患者報告数が多く、第5週（1/26～2/1）をピークに減少傾向がみられた。例年夏季にも患者数が増加する傾向が見られることから、引き続き発生動向を注視していく必要がある。

3. 性感染症は、若年～中年層を中心に一定の報告が継続しており、引き続き注意が必要である。特に20～30歳代に多い傾向がみられることから、啓発活動や検査体制の充実など、予防と早期発見を両輪とした対策が求められる。

次回は令和9年2月頃発行予定です。

福祉保健部感染症対策・薬務課　感染症対策班
電話025-280-5200 （内線2665）